

20東 土 第 69号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

愛知県東浦町長 井 村 徳 光



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、別添のとおり提出します。

【東浦町の概要】

東浦町は、知多半島北東部に位置し、衣浦湾の最奥にあります。東に尾張と三河をわける境川や衣浦湾をはさんで刈谷市、高浜市を対岸にのぞみ南に半田市、西に東海市、知多市、阿久比町、北は大府市に接しています。町は東部の低地と中央部、西部の丘陵地からなっていて、東部にはJR武豊線と国道366号、西部には名鉄河和線が通っています。昭和45年以降大規模な住宅開発が進み、人口は約49千人を越え50千人の大台も目前となっています。産業は古くから「知多木綿」の繊維工業と米作主体の農業を中心として発展しましたが社会経済の変化により現在は、木材工業や自動車関連産業が主流となっています。また、緒川駅前には大規模ショッピングセンターもでき商業も大きく変わろうとしています。

【道路整備の必要性】

- ・東浦町は地理的に知多半島の付根にあること、西三河から名古屋港、中部国際空港へ行く通過点であることから町内には4車線道路が4路線計画されています。
- ・町内には20路線の都市計画道路が計画決定されているがその整備率は約40%と低く、4車線道路の内現在2路線が整備中で残り2路線については、整備の計画が立っていません。
- ・中部国際空港へのアクセスを改善する道路として4車線道路については早期整備の必要があります。
- ・町内に大規模工業用地を誘致したことから工場から発生する交通を処理する道路を整備中であり、操業に合わせ整備を完了する必要があります。

【道路整備財源充実の必要性】

道路は、豊かな生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会基盤であり、地域間の交流・連携の促進を図るとともに、町民の安心・安全を確保し、地震等の災害に強い都市づくりを推進するために必要不可欠な施設です。

本町は「やすらぎとにぎわいのある健康都市」の実現をめざして、各種の施策を展開しているところであり、これらの施策の推進と本町の更なる発展のためには、国道366号を始めとする幹線道路から住民の生活に密着した町道に至る体系的な道路整備が是非とも必要です。なかでも、通学路を始めとした生活道路の安全の確保と、想定される東海・東南海地震等大規模災害に対する緊急輸送道路の整備など、解決しなければならない課題が数多くあります。特定財源の一般財源化に伴い、地方が自由に使える財源を移譲するなど地方財政に影響を及ぼさないように、適切な財政措置を講じていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

愛知県東浦町

様式②

○ 現状

本町は知多半島の付根に位置し、比較的地価が安くＪＲの鉄道駅が町内に４箇所あり、刈谷を始め西三河の工場にも近いことから近年人口が増加している。

自動車産業の盛んな刈谷市に隣接することから西三河と名古屋圏を結ぶ貨物輸送の通過点となっている。また朝夕を中心に通勤車両による交通渋滞が発生している。

休日は、緒川にある大規模ショッピングセンター周辺で買い物客による渋滞が発生している。

市街地中央部を南北に貫く国道 366 号についてはバイパス及び交差点改良工事を実施中であり円滑な交通を確保できる予定である。

○課題

内陸部に誘致した大規模工場用地において発生する交通の処理について既存道路の拡幅、交差点の改良により対応を予定しているが、近接する幹線道路（都市計画道路知多刈谷線、大府東浦線）の整備が未定である。

②-2 地域の目指すべき将来像

愛知県東浦町

地域の目指すべき都市像を第4次東浦町総合計画では「やすらぎとにぎわいのある健康都市」としています。

第4次東浦町総合計画の目標年次平成22年度を目前にし総仕上げの時期を迎え、今後は、少子高齢化社会の中で地方分権時代にふさわしい新しいまちづくりをしっかりと見据え、より確実なものにしていかなければなりません。また、福祉分野、地域課題などの身近なことからについて住民と行政の協働による住民主体のまちづくりが求められています。このような中で、第4次東浦町総合計画のめざすべき都市像である「やすらぎとにぎわいのある健康都市」を実現するための主な事業は以下のとおりです。

- ・都市計画道路や幹線道路、生活道路の整備を計画的に進め、交通量の増加と生活環境の保全に対処します。
- ・三丁公園や（仮称）自然環境学習の森の整備により子どもの遊び場はもとより防災面や地域のコミュニティスペース、生涯学習の場としての環境づくりを進めるとともに、これらの施設へのアクセス道路の整備を進めます。
- ・総合的な子育て支援施設の建設をはじめ保育園や児童館を改修し、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを進めます。
- ・同報無線の整備を継続するとともに全国緊急通報システムとの連携を図り、また、大雨対策としてポンプ場を整備するなど災害に強いまちづくりを進めます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

愛知県東浦町

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	その他
幹線道路、補助幹線道路の整備	国道３６６号バイパスの整備 国道３６６号交差点改良、歩道設置 都市計画道路名古屋半田線の早期整備 都市計画道路知多刈谷線の事業着手	市街地への通過交通の流入軽減、 物流の効率向上による温室効果ガスの軽減 安全性の向上、渋滞緩和	
生活道路・通学路の整備	上坪新々田線始め町道の整備	狭小道路の解消による安全性、快適性の向上	
幹線道路、補助幹線道路の維持管理	国道、県道の舗装補修及び草刈り	道路沿線の住宅への振動等の低減、安全性の向上	